

第 3647 図

ぶ
な
科



ならがしわ

Quercus aliena Bl.

主に本州中部以西、四国、九州の山地に生じ、又アジア東南部に分布する落葉喬木である。樹皮は堅く不規則な裂け目があり、枝はやや太く、若い時は毛があるが直きに無毛になる。葉は互生し、柄は1-3cm、通常長倒卵形で大きく、先は急に尖り、長さ10-25cm巾4-12cm、縁にはやや鈍い粗大な鋸歯があり、側脈は9-15対、成葉は質やや厚く、上面平滑で下面には微細な星状毛が密生し灰白色である。春、新葉と共に開花し雌雄同株、雄花は細長い葇荑穂をなして垂れ下り、雌花は少数葉腋につく。堅果は楕円形で長さ2cm内外、殻斗は椀状で縁は厚く、外面に3角状披針形の小鱗片が密に接着している。

第 3648 図

か
ば
の
き
科



かわらはんのき

一名めはりのき

Alnus serrulatoides Call.
(= *A. obtusata* Makino)

関西以北の低地の河川沿いにはえる落葉小喬木で、高さ5m内外。枝は褐色、梢は若葉と共に少しくねばる。葉は互生倒卵形又は広楕円形で、灰色を帯びた緑色、長さ6-9cm先端は普通円いが時にかるく凹むことあり、基脚は広い楔形で、それを除いて細かい低い鋸歯があり、質は厚味がある紙質、表裏ほぼ同色、且つ光沢がない。脈は裏で少々隆起し赤味をさす。雄花序は枝端に数個が緊緻状につき、前年からついていて、雌花序は腋生だが、次年に熟する時は一見頂生にみえる。果穂は長さ2cm位の卵状楕円体。

第 3649 図

か
ば
の
き
科



やえがわかんば

一名こおのおれ

Betula davurica Pall.

本州中部及び北海道の向陽の山地に生ずる小喬木、高さ5m内外、朝鮮からウスリに亘っては普通に産する。枝は灰褐色で白くて円い小腺点が多いが、樹皮は灰色となりあらく縦横に割れ、しかもよく剥げる。葉は菱形の卵形で平坦、多少シラカンバに似るがより硬く、又小さい。側脈は6-8対、基脚は広い楔形となる。雄穂は本年の枝端につき秋に既に大きい。雌穂は前年枝に腋生する短枝の頂端に出で、柄があり、果となれば卵状楕円体で長さ2cm程、果鱗は光沢があり、上部で3浅裂し、裂片は等長。和名は八重皮即ち樹皮が幾重にも剥げるによる。

じぞうかんば

一名いぬぶし

Betula globispica Shirai

日光、秩父、及び御坂山脈の山中懸崖にはえる落葉小喬木で高さ5-7m、樹皮は灰色、若枝は黄褐色。葉は広い菱形を帯びた倒卵形で長さ5cm内外、厚手の膜質、細かい二重鋸歯があり、側脈が平行して走り、裏は光沢があって一見無毛だが、白い長毛が伏している。乾くと銅色になる。葉柄は短かいが明瞭、疎毛が目立つ。秋になると長さ3cm程の卵球形の大形の果穂が枝に坐ったようにみえる。果鱗は本邦産中、最長で15mm、瘦せて3裂し、しかも軟骨質で、互に緩かに集っている。和名は白井光太郎博士が秩父で発見した時、傍に石地藏があったことによる。

いわしで

Carpinus Turczaninowii Hance

小豆島以西、中国、四国、九州の一部の懸崖に生ずる落葉小喬木で高さ2-3cm、枝を密に分ち、本年枝の基部に金褐色の鱗片葉が多数に宿存する。葉は厚い膜質で小形、卵形で長さ3cm内外、細い柄を有し、上半漸尖し、下半は円味が有り、乾くと暗褐色、側脈10対内外で細かく、主要脈は上面に隆起している。鋸歯は歯牙状で二重性、細かいが明瞭。春、葉の開舒と同時に先だてて開花し、苞鱗は紅くて美しい。果になると穂は短かく、垂れるに至らず、長さ15mm前後、鱗片は歪卵形で質厚味あり、他種の様に縁が折れて瘦果を抱くことはない。和名は岩シデの意。

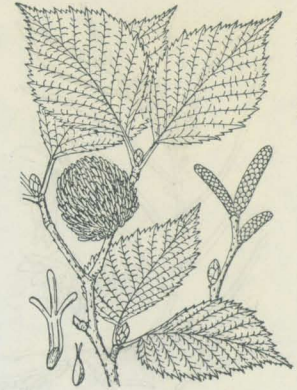
ときわぎよりゅう

Casuarina equisetifolia Forster

濠洲原産の高さ10-30mに達する常緑喬木で、時に暖地に栽植される。小枝は繊細で、先端は垂下し、若枝はトクサの茎の様に節があり、各節間は淡緑色円柱形で、長さ4-6mm、径1mm許、6-8個の縦稜を有し、節には褐色、狭披針形の鱗片葉を6-8個輪生し、初夏に開花する。雄花序は新枝頂に生じ長さ1-1.5cm巾3mm許淡紅色を呈し、中軸の各節には互に融合して筒状をなす鱗片があり、その内側に雄蕊1個のみの雄花を輪生する。雄蕊の左右に小苞あり、萼を欠き、内外に筒状の花弁があるが早落性。雌花序は新枝の基部から側生し、径4mm、毬果状をなし、短大な柄には鱗片葉を密生し、雌花は中軸に輪生し、卵形の小苞2個を左右に供え、萼、花弁を欠き、狭卵形の子房及び深く2岐し長く絲状に伸びる花柱の分枝を有する。花後、毬果は截頭広楕円形又は球形となり、径0.8-1.0cm許に達し、小苞は増大木化して扁平有翼の瘦果を包む。和名は常盤聖柳の意。

第 3650 図

か
ば
の
き
科



第 3651 図

か
ば
の
き
科



第 3652 図

も
く
ま
お
う
科

